

## 5. メディア紹介

---

福 島 民

手話で会話を体験

聖光学院高の福祉コース

達

聴覚障害

への理解を

深める手話

体験授業が

七日、伊達

市の聖光学

院高で開か

れた。

同校で初

めての試

み。福祉コ

ースの一

年生約七

十人が受講

した。全国

で手話を広める活動に

取り組むモデルのNY

anko(にゃんこ)

さん、群馬大の金沢貴

之教授(教育学)らが

講師を務めた。



手を動かして手話を学  
ぶ生徒

NYankoさんは  
手話で単語や日付を表  
す方法を教えた。生徒

は実際に手を動かしたと手話で会話したりし  
り、NYankoさんて手話に親しんだ。

# 手話の楽しさ生徒に

聴覚障害者・モデル Nyankoさん

## 聖光学院高で出前授業



手話の魅力伝えた、にゃんこさん

聴覚障害者でモデルのNyanko(にゃんこ)さんが伊達市の聖光学院高を訪れ、手話講座を通して生徒に手話の表現方法を伝えた。

出前手話授業として7日に開かれ、同校福祉コースの1〜3年生約70人が参加した。にゃんこさんは北海道出身。3歳ごろに聴覚を失ったという。現在はモデルをはじめ、ダンサーや手話アーティストとして活動しており、東京都内の高校で手話を教えている。

「楽しい手話」と題して、出身や趣味、簡単なあいさつなどを手話で紹介。生徒に身ぶり、手ぶりで表現する楽しさや、表情も意思疎通の大切な要素になることを伝えた。講座後、生徒が、にゃんこさんに両手を顔の横で振る手話の拍手で感謝を伝えた。

にゃんこさんは「手話も言語の一つ。これからもダンスやパフォーマンスで手話の普及に携わりたい」と手話で伝えた。



手話の表現方法を学んだ聖光学院高の生徒

群馬大共同教育学部特別支援教育講座の金沢貴之教授の講座「ろう文化と手話」も開かれた。

# 群馬大「手話」講座が人気

群馬大共同教育学部（前橋市）が開く「手話」に関する複数の公開講座が募集期限を待たずに満員になるほど人気になっている。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンライン開催に切り替

## オンライン開催に切り替え

## 募集期限待たず定員に

え募集したところ、前期分（夏まで）の7講座に県外から申し込みが殺到した。10月以降の後期分も講座の募集を28日に開始したが、すぐ定員に達する可能性があるという。

同大は2017年度から教員養成課程で手話通訳の資格取得を目指すコースを導入し、全国的にも珍しい「手話ができる教員」の養成に取り組む一方、市民向けの公開講座を開いてきた。20年度はコロナ禍で中止し、21年度は「手話で学ぶ手話講座―手話とどう文化」などの講座を有料（1800～6200円）のオンライン開催に切り替えた。すると、これまで無料でも満員にならなかった講座が、すぐに定員に

達したという。講座責任者の金澤貞之教授は「手話がうまく知りたいという向上心のある人が全国でこんなに多いとは……。うれしい悲鳴です」と喜んでいる。コロナ禍で国や都道府県別の記者会見に手話通訳の導入が進んだことで、世間の関心が高まった可能性もある。同大の公開講座の詳細は <https://koukai-kouza.opf.ic.gunma-u.ac.jp>。【鈴木敦子】

|                                     |                             |         |   |        |          |              |
|-------------------------------------|-----------------------------|---------|---|--------|----------|--------------|
| 聴覚障害者教育における<br>日本語の活用実践（2）          | 6月22日（水）<br>18時             | オンライン開催 | ・聴覚支援学校（聴覚障害）教員<br>・聴覚支援教育について学ぶ学生<br>・フリースクール等で聴覚障害者の教育に関わる方<br>5人 | 1,800円 | 6月7日（月）  | 定員に達したため受付終了 |
| ろう道楽を学ぶから学ぶ手話通訳（1）                  | 6月24日（金）<br>18時             | オンライン開催 | ・手話通訳を学ぶ方法（ろう道楽を学ぶ基礎知識や通訳の心得）<br>・聴覚障害者、ろう者の教育が実践に関わる方<br>10人       | 1,800円 | 6月9日（水）  | 定員に達したため受付終了 |
| ろう道楽を学ぶから学ぶ手話通訳（2）                  | 7月7日（水）<br>18時              | オンライン開催 | ・手話通訳を学ぶ方法（ろう道楽を学ぶ基礎知識や通訳の心得）<br>・聴覚障害者、ろう者の教育が実践に関わる方<br>10人       | 1,800円 | 6月22日（水） | 定員に達したため受付終了 |
| 耳聴者のための手話通訳実践<br>—いろいろな方法でテキストを見える— | 7月13日（水）<br>7月27日（水）<br>2日間 | オンライン開催 | 聴覚障害者<br>50人  | 5,200円 | 6月28日（水） | 受付中          |

群馬大の公開講座のウェブサイト。手話の講座は申し込み期限（右から2列目）を約1カ月前倒しして受け付けを終了したのも



手話を学ぶ授業を始める聖光学院高で提携式に臨んだ（左から）新井校長、菅野さん、宇佐見さん、金沢教授、三浦社長

学科再編に伴い、来年度から手話を学ぶ授業をスタートさせる聖光学院高（伊達市）は6日、群馬大と手話などの事業に取り組みづラスヴォイス（仙台市）と提携を結んだ。来年3月まで月1回、出

## 聖光学院高、手話を授業に 群馬大などと提携

前手話授業が開かれ、来年4月から週に1回の本格授業が始まる。同社によると、手話を高校授業のカリキュラムに取り入れるのは全国的に珍しいという。

同高は来年度、普通科に福祉探究コースを設置。生徒らが手話の習得に取り組む。手話サポーター養成に取り組む群馬大共同教育部特別支援教育講座の金沢貴之教授らが主にオンライン授業で指導する。手話での日常会話習得をはじめ「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」出場を目指す。

提携式が同校で行われ、新井秀校長、金沢教授、ラスヴォイスの三浦宏之社長が出席した。新井校長は「生徒に幅広く学んでもらい、より魅力的な学校にしていく」とあいさつした。同席した3年の宇佐見京花さんは「将来は手話ができる介護福祉士になりたい」、菅野優愛さんは「看護の分野で手話を活用したい」と夢を語った。

リレーエッセイ・39

# 「手話言語」への 想い



様々な立場の方々から視る「手話言語」への想いを語っていただくことで、手話言語への見識を深めるリレーエッセイです。

今号は群馬大学助教の方からいただきました。

現在、400を超える

自治体で手話言語条例は制定され、こんなに短期間で広く波及するというのは、他に類を見ない条例といえるでしょう。

私は、群馬県と前橋市の手話言語条例について博士論文にまとめました。条例作りというのは、想像以上に大変なことです。しかも、条例を議

決するのは、きこえない

人ではなくきこえる議員(議会)です。一方で、きこえない人の強い想いや言葉が議員の気持ちを動かす、条例作りへの言動力

になることも事実です。条例制定の背景には地域のきこえない人の地道な活動の上に、行政職員や地方議員の理解が重なり、協力があつたことは

まず間違いありません。

次は条例をうまく活用し、具体的かつ効果的な施策を考えていく段階です。手話言語の啓発イベントに関係者以外の人がどれだけ参加していますか。若年層の手話通訳者は増えていきますか。

条例制定はスタートです。複雑細分化する手話言語をめぐる課題の解決には、当事者であるきこえない人が具体的な施策の提言をし、時には専門家の協力も必要です。今後の手話言語をめぐる社会の発展はろう者の皆さんにかかっています。

## 条例の活用で具体的、 効果的な施策を！

ふたがみ  
一神 麗子 (群馬大学  
助教)

三原じゅん子厚生労働大臣との Zoom 対談 2021 年 4 月 21 日

## 群馬大学 共同教育学部 特別支援教育講座の金澤貴之教授が三原じゅん子厚生労働副大臣とZoomで対談を行いました

[投稿日] 2021/04/26 MON [CATEGORY] 新着情報 [tag] 荒牧

Tweet  LINEで送る 

2021年4月21日（水）手話サポーター養成プロジェクト室の金澤貴之教授が、三原じゅん子厚生労働副大臣とZoomで対談を行い、障がいのある研究者に対する支援政策の要請等を行いました。

### 対談の様子



親指、人差し指、小指を立てる独特のサインは、世界共通の手話「アイラブユー」です。撮影の時に「ピースサイン」をするように、聾者の間では、このサインをすることがわりと一般的なのです。（金澤貴之 教授）

（群馬大学ホームページより）

## 「手話とろう文化」の授業が2020年度群馬大学ベストティーチャー賞（学長賞）を受賞

本学で開講している「手話とろう文化」の授業が2020年度 群馬大学ベストティーチャー賞（学長賞）を受賞しました。

※「手話とろう文化」…全学部向け授業。公開講座でも一部開講。（公開講座は一般の方でも受講可能です。）  
こちらの授業は、本プロジェクトリーダーの金澤 貴之教授と産学官連携研究員の下島 恭子氏が担当しております。手話・ろうの世界に初めて触れる方でも理解しやすいよう、実技をミニドラマ風のストーリーで学んだり工夫を凝らした内容となっています。

### ○表彰式の様子○



（左より石崎 泰樹学長、金澤 貴之教授、下島 恭子研究員）



（1列目右端：金澤 貴之教授、2列目右端：下島 恭子研究員）

### ○YouTube で授業を公開しています○

群馬大学の YouTube チャンネルに公開模擬授業として授業を公開していますので、下記 QR コードより是非ご覧ください。

[公開模擬授業「手話とろう文化」（共同教育学部特別支援教育講座 金澤貴之 教授）]







日本財団事業

2021 年度「聴覚障害に関わる支援人材育成を目的とした

遠隔手話教育システムの構築」 報告書

---

2022 年 3 月発行

国立大学法人群馬大学 手話サポーター養成プロジェクト室

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町 4 丁目 2 番地

<http://sign.hess.gunma-u.ac.jp/>

TEL 027-220-7157 (研究に関するお問い合わせ)

027-220-7137 (7157 不在時および事務に関するお問い合わせ)

FAX 027-220-7390

---

